

事務事業評価資料

施策名	芸術文化センターの運営			所管部局課名	企画県民部県民文化局芸術文化課				
事業名	芸術文化センター創造・公演事業			担当者電話番号	施設運営係 078-362-3153				
事業目的	国内外の優れた舞台芸術を上演し、幅広く県民に舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術文化の普及・振興を図る。								
事業内容	自主企画・プロデュース事業、 招聘・提携事業、 コンサート等を上演する普及事業				事業開始年度	平成17年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 350,000千円		(0千円) 350,000千円		(0千円) 400,000千円			
	人件費	85,557千円	従事人員 10.1人	84,436千円	従事人員 10.1人	82,860千円	従事人員 10.1人		
	総コスト(+)	435,557千円	従事人員 10.1人	434,436千円	従事人員 10.1人	482,860千円	従事人員 10.1人		
事業の目標	芸術文化の普及・振興のため、幅広く優れた公演事業を実施			[目標設定理由] 施設の設置目的が、広く芸術文化の振興を図る拠点とすることであるため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	主催公演数	140公演	毎年度	238公演 (1,830千円)	191公演 (2,274千円)	175公演 (2,759千円)	170.0	136.4	125.0
評価結果	必要性	・自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹をなす事業として、幅広く県民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するために必要な事業である。							
	有効性	・目標値を大幅に超える公演を実施し、年間約50万人の公演入場者があり、本格的な舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しつつあり、芸術文化振興の拠点となっている。							
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・開館記念期間（平成17年度～19年度）を経て、平成20年度からは通常年度ベースに移行し、県からの事業費補助が3割減額（5億円→3.5億円）となったが、経営努力により効率化を図り質・量ともにこれまでと遜色のない主催事業展開を続けている。 ・主催公演の先行予約会員制度を設け、固定ファンを獲得し、安定した入場料収入の確保に努めるとともに、賛助会員の獲得、さらに、各ホールにネーミングライツを導入するなど、安定的、効率的な事業運営を行っている。 ・平成21年度の芸術監督プロデュースオペラ「カルメン」では、日本オペラ連盟、東京二期会、愛知県文化振興事業団との共同制作・共同主催により費用負担を抑えながら全国広域展開を実現し、センター9公演を含む全15公演で合計3万人を超える観客動員を達成した。 ・平成22年度は、通常年度ベースに加え、ネーミングライツ収入の積立による「開館5周年事業」（0.5億円）を実施することとしており、事業財源を有効に活用している。 							
	民間・市町との役割分担	・芸術監督を擁し専属の管弦楽団を持つ舞台芸術専門劇場は、県内（民間・市町）に類似施設がない。芸術文化センターの活動によるオペラやクラシック音楽ファンの裾野拡大によって、他の劇場・ホールの活性化などの相乗効果が期待される。							
	受益と負担の適正化	・収支バランスを念頭において公演料を設定しているほか、普及・啓蒙的な事業では、受益者の負担軽減を図りながら、事業内容に応じた料金を徴収している。							
実施方針	方向性	新規	Ⓢ 拡充		継続	実施手法の見直し			
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	引き続き、自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」の理念を実現できる施設として、自主企画・プロデュース事業、国内外からの招聘・提携・共催事業など多彩な事業を展開していく。								